

【重要文化財】

1 石岡第一発電所 (平成20年度指定)



日立鉱山の電化のため小平浪平氏(日立製作所の創業者)らが関わり、当時、黎明期にあった鉄筋コンクリート技術を積極的に導入し建設された発電所で、茨城県内最大の水力発電所(管理者:東京発電(株))

2 横利根閘門 (平成12年度指定)



利根川改修事業の一環として建設された我が国最大級の規模を誇る煉瓦造り閘門で、土木技術史上、煉瓦造り閘門の一つの到達点を示すもの(管理者:国土交通省)

3 花貫川第一発電所第三号水路橋 (平成24年度認定)



アーチの導水路橋で我が国における初期のコンクリート橋であり、風光明媚な県立自然公園の中で美しい姿を見せ「めがね橋」の愛称で親しまれている(国登録有形文化財)(管理者:東京発電(株))

4 中央橋 (平成22年度認定)



旧棚倉街道の里川に架かり、当時としては画期的な造形美を誇り、山紫水明の地に美しく映えるアーチ橋で、地元では「めがね橋」と呼ばれ親しまれている(国登録有形文化財)(管理者:常陸太田市)

5 里川水系水力発電所群 (発電所5基、旧変電所1基) (平成29年度認定)



茨城県で最初に電源開発された里川水系にかかる発電所群で地域の近代化に貢献すると共に、当時の建設技術を今に伝える貴重な土木遺産である(賀美、小里川、徳田発電所及び旧戸屋変電所は国登録有形文化財)(管理者:東京発電(株)、常陸太田市)

6 大手橋 (平成22年度認定)



江戸時代の様子を継承しつつ、当時の最新技術であった鉄筋コンクリート構造の橋として架け替えたもので、現在再建中の大手門と相まって水戸城跡景観整備の中核を成す(管理者:水戸市)

7 水戸市低区配水塔 (平成26年度認定)



鋼製の水槽を内蔵する鉄筋コンクリート造りの水道配水塔で、外壁には消防ホースをモチーフにした装飾などが施され、近代水道に於ける水戸市民の思いが込められている(国登録有形文化財)(管理者:水戸市)

8 筑波山千寺川砂防堰堤群 (堰堤24基) (平成23年度認定)



茨城県における最初の本格的砂防事業により建設された堰堤群で、石積み趣のある深流の景観を醸し出し、当時の土木技術を伝える貴重な構造物(管理者:茨城県)

茨城の土木遺産



茨城の近代化のため、当時、技術の粋を結集して造られた土木構造物は、地域の安全や発展を支えてきた。長い年月を経た今でも機能を発揮し続けているものや美しい姿を残しているものもある。静かに地域社会を見守る美しき土木構造物群に魅了されると共に先人たちの知恵や情熱が伝わってくる。

重要文化財(産業・交通・土木関連の近代遺産)
明治時代以降の日本の近代化に寄与してきた産業・交通・土木関連の構造物の中で、特に歴史的、芸術的、学術的に優れ、かつ、各時代又は類型の典型となるもので文化財保護法に基づき国が指定したもの。(茨城県では横利根閘門、石岡第一発電所、シャトーカミヤ旧醸造施設の3件)

土木学会選奨土木遺産
土木学会が明治以降の日本の近代化に寄与してきた土木構造物の内、建設技術的、デザイン的に優れているもの、または、由来やエピソードに特徴があるものについて、土木遺産として顕彰(認定)したもの。(茨城県では平成29年度までに10件が認定を受けている)



- 重要文化財
- 土木学会選奨土木遺産
- 土木遺産モニュメント

- 1.石岡第一発電所/北茨城市中郷町石岡[常磐道北茨城インターより車で10分]
- 2.横利根閘門/稲敷市西代[JR成田線佐原駅より車で8分]
- 3.花貫川第一発電所第三号水路橋/高萩市秋山[常磐道高萩インターより車で9分]
- 4.中央橋/常陸太田市町屋町[JR水郡線常陸太田駅より車で14分]
- 5.里川水系水力発電所群/常陸太田市西河内下町[JR水郡線常陸太田駅より車で19分]
- 6.大手橋/水戸市三の丸[JR常磐線水戸駅より徒歩6分]
- 7.水戸市低区配水塔/水戸市北見町[JR常磐線水戸駅より徒歩15分]
- 8.筑波山千寺川砂防堰堤群/つくば市筑波[常磐道土浦北インターより車で36分]

- 9.筑波山ケーブルカー/つくば市筑波[常磐道土浦北インターより車で36分]
- 10.霞ヶ浦湖岸施設/稲敷郡美浦村大山[国央道稲敷インターより車で24分]
- 11.江連用水旧溝 宮裏両樋/下妻市本宗道[関東鉄道常総線下妻駅より車で6分]
- 12.関宿水閘門/猿島郡五霞町山王[国央道五霞インターより車で9分]
- 13.水府橋/水戸市水府町[JR常磐線水戸駅より徒歩17分]
- 14.川口川閘門/土浦市川口2丁目[JR常磐線土浦駅より徒歩7分]
- 15.反町閘門/坂東市大崎[常磐道谷和原インターより車で17分]

【土木学会選奨土木遺産】

9 筑波山ケーブルカー (平成27年度認定)



我が国に技術導入されて間もないコンクリート覆工の隧道や90度方向転換する路線設定など大正期の最新技術を駆使し建設され、今尚、筑波山観光の重要な交通機能を担っている(管理者:筑波観光鉄道(株))

10 霞ヶ浦湖岸施設 (旧鹿島海軍航空隊滑空台) (平成21年度認定)



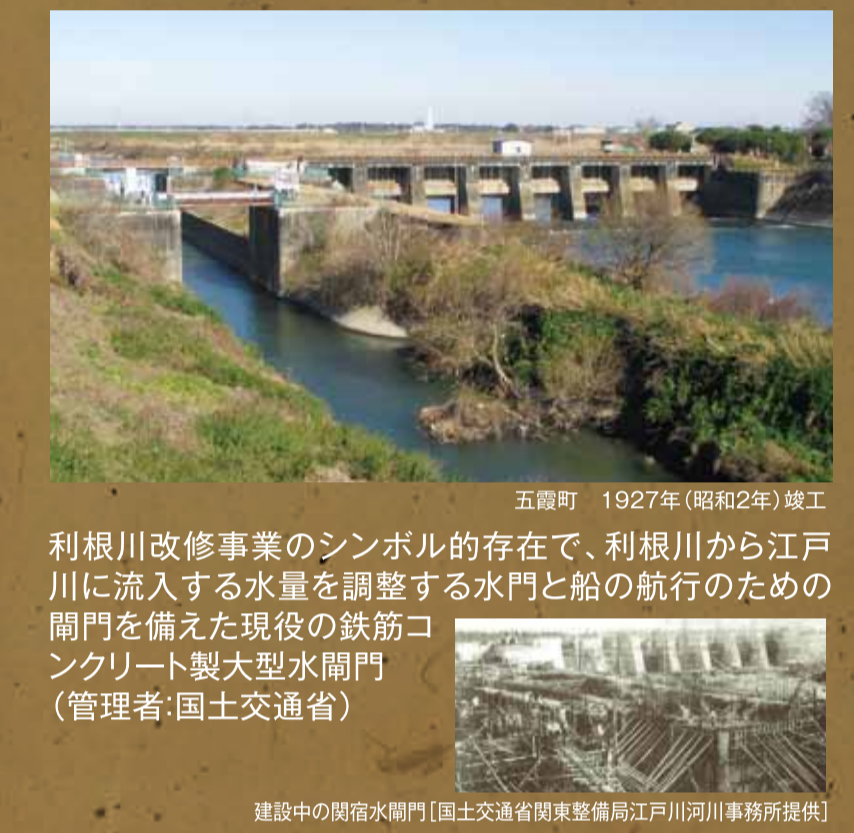
水上飛行機を陸上から水上にスムーズに登り降りさせるために旧海軍が建設した施設で、現在では治水施設として機能を発揮しており、当時の土木技術の水準の高さが伺える(管理者:国土交通省)

11 江連用水旧溝 宮裏両樋 (平成28年度認定)



江戸期に開設された灌漑用水の分水施設で、明治期に改築し、現存する茨城県最古の煉瓦造り樋門であり、地域の貴重な歴史遺産として管理されている(国登録有形文化財)(管理者:下妻市)

12 関宿水閘門 (平成15年度認定)



利根川改修事業のシンボルの存在で、利根川から江戸川に流入する水量を調整する水門と船の航行のための閘門を備えた現役の鉄筋コンクリート製大型水閘門(管理者:国土交通省)

【土木遺産モニュメント】

13 水府橋 (トラス部材の一部を切り出し橋詰に設置した記念碑)



車道の両側に歩道を備えた美しい三連の田茂ワールトラス橋で水戸市のシンボルとなっていたが、那珂川の河川改修事業のため平成26年架け替えられた(管理者:茨城県)

14 川口川閘門 (公園展示施設となった川口川閘門の門扉)



大雨時に霞ヶ浦の水位が上昇し、川口川を遡上してくる洪水から土浦市街地を守るため建設された閘門で、近年の市街地整備により川口川は埋め立てられ、昭和50年頃に水門の機能を終えた(管理者:土浦市)

15 反町閘門 (部材の一部を使って再現した茨城県自然博物館屋外展示施設)



利根川の増水時に飯沼川を遡上する洪水による飯沼干拓地の湛水を防止するため建設された閘門で、近年の河川事業による下流の法師水門の設置や河川の改修に伴い機能を廃止した(管理者:茨城県)